

第53期 報告書

2022年12月期 2022年1月1日 ▶ 2022年12月31日

RENTIA

レントリアレポート

Report vol. 6



トップメッセージ 株主の皆様へ

はじめに

株主の皆様におかれましては、平素よりご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当社は、東京証券取引所に株式を上場して、2023年2月7日で3周年を無事迎えることができました。これもひとえに皆様方のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

第53期の業績について

第53期(2022年度)は、中期経営計画「Next Value 23」の2年目として、グループ共通理念『レンティアグループは顧客を創造し 社業発展 進歩を図り 社会に貢献する』に基づき、さらなる企業価値向上に取り組んでまいりました。

2022年は、新型コロナウイルス第6波、第7波が襲来し、また、ロシアによるウクライナ侵攻やインフレに伴う物価上昇など、不安定な社会情勢が経済活動にも多大な影響を与えた年となりました。

こうした状況において、当社グループは、レンタル関連事業を中心にビジネスの拡大を図りました。建設現場向け市場

においては、首都圏を中心として大型開発案件での旺盛な需要を取り込んだほか、太陽光発電に着目した「脱炭素ソリューションサービス」の拡充に努めてまいりました。イベント向け市場においては、依然として新型コロナウイルス感染症の影響が残ったものの、音楽イベントとマラソン等のスポーツイベントでは復活の傾向が見られました。オフィス向け市場においては、ワクチン接種や政府・自治体からのBPO案件が売上・収益の拡大に寄与しました。さらに2022年4月にジーピーエスグループ3社をグループに加えること等によりICT分野を強化したため、新たな需要を獲得しサービスを拡大することができました。

今期の見通し

2023年度は、現中期経営計画の総仕上げの年となります。2024年から始まる次期中期経営計画を見据え、引き続き「レンタル関連事業」「スペースデザイン事業」「物販事業」に注力するとともに、ICT市場においては、今後も市場拡大が見込まれるeスポーツ分野において新た

なサービスを提供する等、積極的に取り組んでまいります。

さらに、持続可能な社会の実現に向け、社内で「サステナビリティ委員会」を設置。特に「脱炭素」や「人的資本」といったテーマで議論を重ね、マテリアリティ達成に向けた施策を企画・実行することで、ESG経営を推進してまいります。

株主還元について

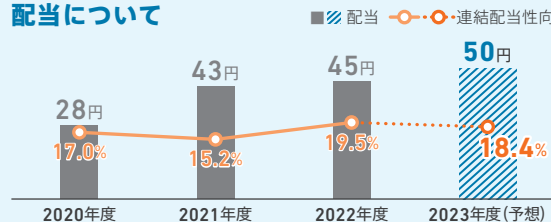
当社は収益性の向上に努め、株主の皆様に対しては、安定的な利益配当および株主優待等で還元したいと考えております。2021年度から株主優待制度「コーユーレンティア・プレミアム優待倶楽部」を開始しています。また配当金額に関しては、2022年度は前期の1株当たり43円から45円に増配しました。2023年度におきましても基本的な方針を継続、1株当たり5円増配し50円を計画しております。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2023年3月

コーユーレンティア株式会社 代表取締役社長 梅木 孝治

配当について



基本方針

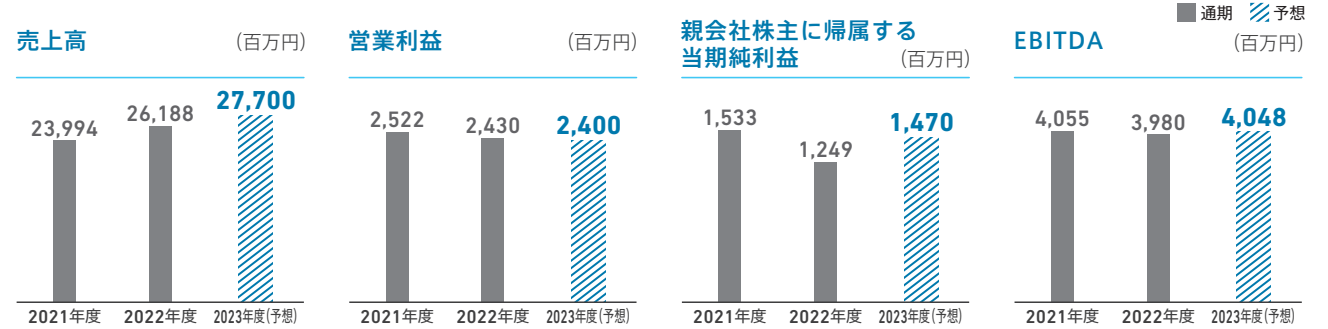
- 成長投資のための原資
- 安定的な株主還元

配当性向

収益とキャッシュフロー状態を勘案し、連結配当性向15%以上

Highlight

業績ハイライト



Segment

セグメント情報

レンタル関連事業

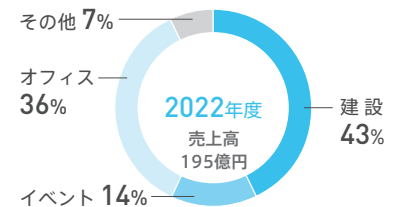
〔2022年度の業績〕

資材高騰や価格競争が見られたものの、当初予想を上回る着地

建設市場は大型案件の稼働により業績を牽引。イベント市場では新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの、改善傾向が見られた。また、オフィス市場ではジーピーエスグループが加わったことにより収益増加。ワクチン接種や経済復興支援等のBPO案件などを引き続き受注

〔2023年度の見通し〕

- ▶ 大型プロジェクトが牽引、イベント需要の回復、BPO市場の成長により、売上は好調に推移する見込み
- ▶ ジーピーエスグループが加入したことにより、ICT事業のさらなる拡大が期待される



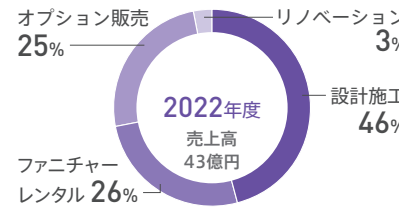
スペースデザイン事業

〔2022年度の業績〕

資材供給の不透明感等が顕在化したものの、選択と集中を行い売上高・利益の拡大に寄与。マンションギャラリー設計・施工とインテリアオプション販売が好調で、営業利益率が大幅改善

〔2023年度の見通し〕

- ▶ 採算を意識した「選択と集中」対策の強化で収益増加を見込む
- ▶ マンション市場以外の受注拡大にも取り組み、収益性の向上を目指す



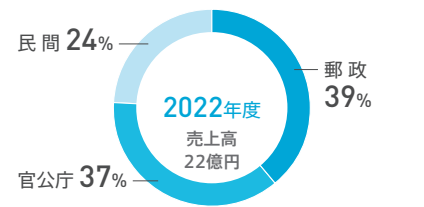
物販事業

〔2022年度の業績〕

政府予算の配分見直し、オリンピック関連施設向け案件の剥落、抗ウイルスコーティングサービスの競争激化により、減収減益で着地

〔2023年度の見通し〕

- ▶ マネジメントとマーケティングの強化により業績改善を目指す
- ▶ 顧客の開拓・拡大を進め、一貫した商品・サービスの提供を行い、顧客の利便性に貢献する



中期経営計画の主要施策

中期経営計画「Next Value 23」の進捗と、2023年の施策をご紹介します。顧客に期待以上の価値を提供できるよう、商品だけでなく、サービスの充実を図るとともに、当社を取り巻くすべてのステークホルダーに対し、企業価値を高めてまいります。

経営基盤の強化 (2021~2023)

- 1 企業価値向上のための人財投資
- 2 成長領域の明確化
- 3 規模拡大に向けた事業インフラへの投資
- 4 新規事業創出のための仕組みづくり
- 5 脱炭素社会に貢献可能なビジネスモデル強化
- 6 企業ブランド価値の向上
- 7 SDGs、ESGの推進
- 8 企業価値創造の具現化

フェーズ I

次期以降中期経営計画 (2024~2030)

成長と安定した収益構造

- セグメントごとに安定した収益を確保
- 事業ポートフォリオの最適化
- 市場ポートフォリオの最適化
- 創出新規事業での収益確保

フェーズ II

GOAL

(ありたい姿)

各セグメントにおける経営基盤を確固たるものにし、コアコンピタンスの深化と進化により、グループ総和として顧客の最大化を実現

重点施策

2022年度進捗

2023年度施策

重点施策	2022年度進捗	2023年度施策
1 人財育成	人材開発部を新設し、体制を強化	経営幹部向けの教育をスタート
2 成長領域の明確化	ICTや社会課題解決型のサービスを拡充	eスポーツ事業の本格展開
3 事業インフラへの投資	M&A (ジービーエスグループ) による市場の拡大	物流改革の着手とECサイト構築
4 新規事業の創出	三菱地所の「エコファニ」事業への参画	中小企業マーケットに進出
5 脱炭素社会に向けたビジネスモデル	再生エネルギーを使った商品のレンタル提供	サステナブル商品やサービスの開発
6 企業ブランドの向上	ラジオCM(関西版)やWEBサイトのリニューアル	WEBによるESG事例の情報発信
7 SDGs・ESGの推進	マテリアリティの特定 EVトラックの導入を決定	ESG経営の実践 ESGの商材調達・開発 EVトラック導入などによるCO2削減
8 企業価値創造の具現化	全国拠点におけるSDGs教育を実施	

飛躍する九州地区

国際イベント開催や半導体業界で注目されている九州での事業展開を強化

1991年九州支店の開設を契機に、現在ではグループの営業拠点としてコーユレンティア九州支店(含むコーユイノテックス、ONEデザインズ)、6営業所(北九州・熊本・大分・佐賀・鹿児島・沖縄)およびリユースショップ・リスタ2ヶ所(福岡・沖縄)に加え、物流センター3ヶ所(福岡・南九州・沖縄)が拠点を構えるなど、グループ総勢約50名で九州・沖縄エリアをサポートしています。

九州エリアは、コロナ禍でインバウンド需要が減少し影響を受けたものの、2023年度は、世界水泳やマラソンなど世界・全国規模のスポーツイベントが予定されています。

また、半導体・エレクトロニクス関連では、TSMCによる熊本への新工場建設やSUMCO(佐賀・長崎)、京セラ(鹿児島)の生産能力増強など大型投資計画が進められており、「九州シリコンアイランド復活」が期待され、半導体業界からの注目度が高まっています。

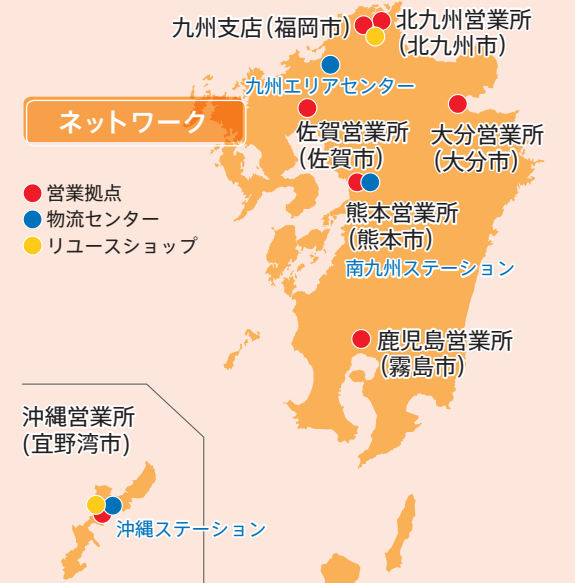
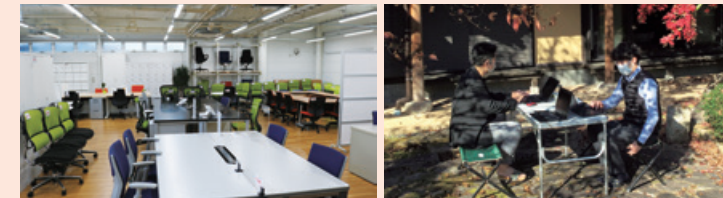
当社グループでは、脱炭素、ウェルビーイング等SDGsや新たな働き方を意識した企画提案、リユースショップの開設を行うなど、サステナブルな事業活動を推進し九州エリアでの事業を強化し、地域発展にも貢献してまいります。



コーユレンティア株式会社九州支店長 猪腰 重之

具体的な取り組み

- 1 自社商品&ICTを組み込んだウェルビーイング提案「スマート&ウェルネス」をイメージしたオフィス実現
- 2 リユースショップ「リスタ福岡店」の開設(2022年11月)
- 3 各種マラソン、ロードレースを冠イベントとして協賛(2022年8月) 福岡、熊本、北九州、鹿児島、佐賀におけるマラソン大会をサポート
- 4 九州地区における企業版ふるさと納税を実施(福岡市、太宰府市、うきは市、大木町、大野城市、大分県、熊本市、合志市、大崎町)
- 5 太宰府市と物資の供給に関する協定書を締結(2022年9月)
- 6 保養所「五馬の郷」(大分県日田市)で社内初のワーケーションを開催



6月 NEW EDUCATION EXPO
に出展



7月 感染症対策総合展

7月 コーユーイノテックス(関西)と
ジービーエス(関西)が事務所を統合

9月 ウェルビーイングの
モデルオフィスを開設(関西)



9月 関西建設DX展に出展
リアル広告EXPOに出展

10月 コーユーイノテックスが
DX認定を取得

経済産業省が定める「DX認定事業」の
認定取得



11月 網屋と戦略的業務提携契約を
締結

11月 「ハイウェイテクノフェア2022」
に出展

11月 「SMART SELECTION」
提供開始



11月 リユースショップ
『リスタ福岡店』開設



12月 国際ランドリー-EXPO 2022

12月 コーユーイノテックスと
ジービーエスがオフィスを統合



12月 自然エネルギー活用サービス
「そらフラット」提供開始



2022年

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

2023年

6月 「環境経営レポート2022」を作成

6月 国連グローバル・コンパクトの
活動報告書「COP」を作成

6月 全社員を対象とした「環境月間」を実施

環境庁が主唱する「環境月間」に合わせ、
独自のイベントを企画。当社グループの
全拠点に参加して実施しています。



8月 「オートポリス
ロードレース」に
冠スポンサー
として協賛
(大分県日田市)



8月 マテリアリティを特定

環境
Environment

- 限られた資源を有効活用する循環型事業の拡大
- 事業活動(特に物流)により排出されるCO₂削減で脱炭素社会に貢献

社会
Social

- 働き続けたい!を実現する社員エンゲージメントの向上
- "Creative Rental Company"を実現するダイバーシティ&インクルージョン
- 様々な協力会社との共創でお客様に価値ある商品・サービスの提供を実現するサステナブル調達

ガバナンス
Governance

- ステークホルダーへの公益性維持を実現するリスクマネジメント
- 社会から信頼される企業を実現するコンプライアンスの推進

9月 太宰府市と「災害時における
物資の供給に関する協定書」を締結



左:九州支店長猪腰 右:楠田大蔵市長

10月 FM大阪にてラジオCM開始



10月 東京レガシーハーフマラソン
2022協賛



9月 ジービーエスがWEBサイトを
全面リニューアル

11月 BCP訓練を実施



11月 東京都主催のスポーツイベントに
広友物産と広友サービスが体験
ブースを出展



東京駅構内にて特設されたスポーツ体験
コーナーにて「モルック」ブースを開設

12月 EVトラックの導入を決定

脱炭素社会の実現を目指し、CO₂を排出し
ない、EVトラックの導入を決定。関東地区
を中心に、運用拡大を目指します。



12月 コーユーレンティアが
WEBサイトを全面リニューアル



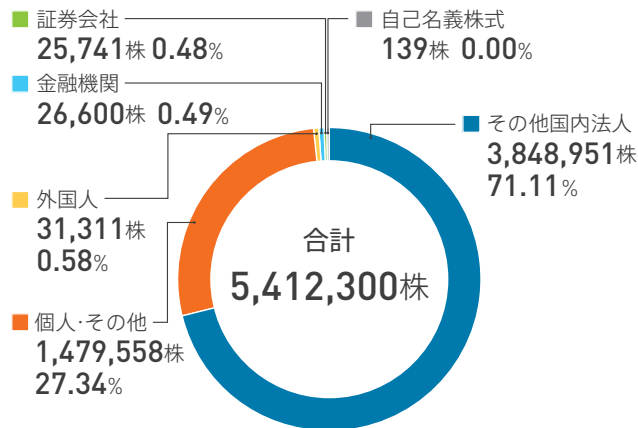
○ 役員一覧 2023年3月30日現在

役職	氏名
代表取締役社長	梅木 孝治
取締役兼専務執行役員	寺澤 重治
取締役兼執行役員	小倉 隆男
取締役	梅木 健行
取締役	長田 朋久
社外取締役	藤村 啓
社外監査役（常勤）	畑 耕一
社外監査役	足立 政治
社外監査役	北島 貴三夫

○ 株式の状況 2022年12月31日現在

発行可能株式総数 18,000,000株
 発行済株式の総数 5,412,300株
 株主数 2,955名

所有者別株式分布状況



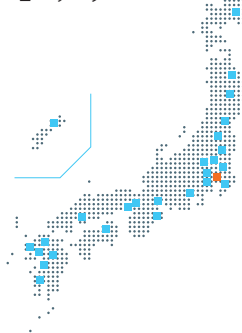
○ 会社概要 2022年12月31日現在

会社名 コーユーレンティア株式会社
 本社所在地 〒105-0004 東京都港区新橋6-17-15
 菱進御成門ビル6F
 設立 1970年(昭和45年)10月
 代表者 代表取締役社長 梅木孝治
 資本金 8億7,896万円
 証券コード 7081
 売上高 261億8,816万円(2022年12月期 連結)
 従業員 840人(2022年12月末現在 連結)
 事業内容 FF&E*レンタル業。建設業界・不動産業界・イベント業界をはじめ、国内外の企業向けにFF&Eをレンタル。

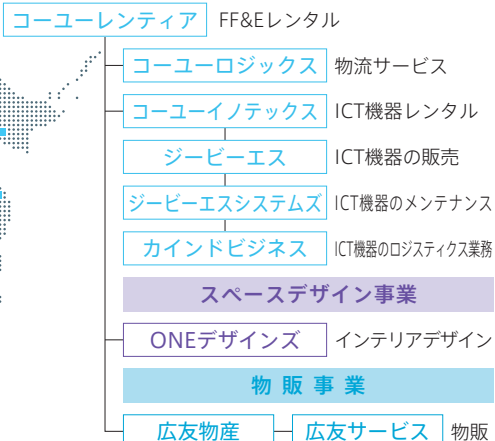
営業拠点：26ヶ所

物流センター：11ヶ所

リユースショップ：6店舗



レンタル関連事業



*Furniture, Fixtures and Equipment (家具、什器、備品)

コーユーレンティア株式会社

<https://www.koyou.co.jp/>